

14年間・子育て支援・NPOを実践している唯一の武蔵野市議会議員



つちや みえこ
土屋 美恵子



2 期目最終年となり、平成 22 年度武蔵野市議会も、折り返し地点をむかえました。有言実行、諸々の政策を実現できたことは、ひとえに、市民の皆様の温かいご支援があつてのことと深く感謝申し上げます。

今期は、総務委員、鉄道・農水省跡地特別委員会委員長、ならびに議会運営副委員長、議会広報委員、農業委員、青少年問題協議会委員として、議会活動に取り組んでおります。このたび終了しました 9 月議会と決算委員会の場におきましても、みなさまの声をしっかり代弁させていただきました。今回の活動報告では、主に、平成 22 年度前期の活動の結果についてご報告させていただきます。

一般質問、決算委員会質問にて

福祉施策の拡充、早急な対処・連携を求めました!!

♣ 高齢者支援

全国的な傾向でもある高齢化は、武蔵野市も例外ではありません。市内にお住まいの独り暮らしの高齢者の生活を守り、安心して暮らしていただけるよう、災害時要援護者支援、住宅住み替え、空きや対策の充実を求めました。

♣ 子育て支援

こんにちは赤ちゃん訪問、産前産後支援ヘルパー事業、一時預かり保育といった育児支援策の各々のサポートは大変充実してきています。ただ、子どもの成長につれ受けるサービスは変わってくるものです。また、育児困難家庭支援といった対策の必要性もでてきています。子育て家庭をとりまく連携と早期からの対処が、未来の社会を築く上で重要と考えます。子育て支援をトータルコーディネートできる体制があれば、武蔵野市の子育て支援はもっと良くなるはず。連携強化を求めました。

また、子育て支援企業、ワークライフバランスの浸透を促す施策の必要性もうったえ続けています。

♣ 教育支援

特別支援教育を受けたいという親御さんのニーズは各校に存在しています。モデル事業の範囲にとどまらず、各校への拡大を求めました。あわせて、障害児童のデイサービスの、通学時や放課後への適用や、デイサービスの対象年齢を高校生にまで広げることを提案しました。

また、小中学校の課外活動で全国大会へ参加する際の援助についても、導入を求めました。

♣ 予算の厳格な査定を！

平成 21 年度決算における不要額は約 28 億 4000 万円に上りました。来年度は厳格な予算策定を行ってほしいと思います。一方で、不用額の扱いについても見直せないかと考えます。不用額となると見込まれた段階で、その一部でも、予算カットを余儀なくされた事業へ再割り当てられるのであれば、予算の有効活用につながるのではないのでしょうか。予算を未来の事業のために留保することも必要ですが、現在の施策へ活かす事も大事でしょう。

武蔵境議連発足

**4月、西部地区在住7名の議員で武蔵境議連を発足しました！（会長：土屋美恵子）
会派を越え、境南北のまちづくりに、しっかりと取り組んでいます**

3月末で閉館となる西部図書館。閉館後は歴史資料館に??

8月18日の総務委員会で、閉館後の西部図書館の利用策として歴史資料館（仮称）とするケーススタディ報告がありました。閉館後の利用については、他の西部地域施設見直しの一環として考えていく予定であったはずなのに、なぜ突然、このような話がでてきたのか。市民のための有効活用といえるのでしょうか。境地区で見直しが必要となっている施設は、児童館、西部図書館、市民会館、市政センター、ヒューマンネットワークセンター、旧桜堤小学校などです。市政センターは武蔵境駅高架下への移転が予定されていますが、ほかは検討中です。市民のみなさまと施設配置を丁寧に見直し、境圏にふさわしい構成を検討していきたいと考えています。

高架化で生まれてしまった道路の危険な横断箇所・・・、早急に無くさなければ！

JR高架化になり南北の移動がスムーズになりました。その一方で、道路を横断するときにキケンを感じる箇所もいくつか見られるようになってしまいました。市民の安全を守るため、横断歩道や信号を早急に設置するよう要望しています。また、スイングビル前から観音院に抜ける道路の開通も求めています。

有言実行！

グループ保育室事業の試行！

保育園待機児童対策のひとつとして、「にことこ」（関前3丁目）と「虹・空・野原」（境1丁目）にグループ保育室をスタートさせました。ご利用ください。

市の独自補助、幼稚園就園奨励費がスタート！

国の制度変更により、幼稚園就園奨励費が年間18,600円減額されてしまうことに。武蔵野市で補填できないものかと独自補助を要求していました。その結果、今年度分より補助されることが決定しました。

多胎児親子のひろば開催！

ふたごちゃんやみつごちゃんをご家族のための広場が、またひとつ増えました。武蔵野市役所8階会議室で、今年度4月からスタートしています（4月、6月、8月実施済み）。次回は10月29日（金）10:00～11:30。出入り自由ですのでお気軽にどうぞ。

病児保育室「フチあんず」オープン！

家庭での療養が困難な病中・病後児の預かり場となる病時保育室が、ついに開設されました。「フチあんず」（境1丁目、介護老人保健施設あんず苑アネックス併設、8:00～18:00）では、風邪などの病気のお子様をお預かりできます。事前登録の上、緊急の駆け込み寺としてご利用ください。

生涯学習講座の案内の見やすさ・使いやすさを改善！「大人のための生涯学習ガイドブック」発行

市報、チラシ等でご案内していた生涯学習でしたが、半年程度先までの講座一覧をまとめたガイドブック化にこぎつけました。受講計画にお役立てください。

武蔵野市の基本構想・長期計画にサイレントマジョリティの市民の声を反映させたい！

市政参加の機会のなかった市民の声を伺う場を！と提案し続けてまいりましたが、ついにその場となる市民ワークショップの開催が決定しました。無作為に選出した市民の方にご参加いただき、武蔵野市の将来像について話し合っていたいただくワークショップです。第五期基本構想・長期計画の策定に反映させます。

武蔵野市議会議員 土屋美恵子

武蔵野市境南町 5-13-5 TEL/FAX 31-0324 携帯電話 080-1075-9962

日々の活動状況はこちらをご覧ください！

ブログ「土屋美恵子の子育て応援活動日記」 <http://blog.goo.ne.jp/miekorori/>

